

知事メッセージ



北方領土返還要求運動広島県民会議におかれましては、日頃から、北方領土の返還に向け、世代を超えた粘り強い運動を展開されており、心から敬意と感謝を申し上げます。

申すまでもなく、北方四島は、歴史的にみても、国際法からも、一度も他国の領土になったことがない、我が国固有の領土ですが、第二次世界大戦終了直後、ソ連軍によって不法に占拠されて以来、帰属の問題が解決されていないことは、誠に遺憾です。

北方領土問題につきましては、昨年10月に発足した岸田政権におかれましても、ロシアとの懸命な外交交渉が行われているところであり、今後、交渉を進展させるためには、我々一人ひとりが北方領土問題に対する理解と関心を深め、返還要求運動を活発に推進し、政府の外交交渉を強力に後押ししていくことが不可欠でございます。

引き続き、北方領土の返還に向けて、県民総ぐるみの取組を続け、一日も早くこの問題が解決することを祈念いたしまして、メッセージといたします。

令和4年2月

広島県知事 湯崎 英彦